

令和 6 年 11 月 22 日

小野市議会議長 高坂純子様

市民クラブ
小林千津子

行政視察報告書

先般、実施しました 総務文教常任委員会による行政視察結果について、
下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和 6 年 11 月 12 日 (火)

2 視察メンバー

委員長 河島信行 副委員長 宮脇健一
委員 掘井ひさ代 山本悟朗 前田光教 高坂純子 小林千津子
川名善三

3 視察先及び調査内容

(1) 滋賀県守山市 (人口 : 約 8 万 5 千 800 人 面積 : 55.73 k m²)
もりやまエコパーク環境センター周辺整備事業

11 月 12 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 30

《視察項目》

環境センター周辺整備事業

《視察内容》 10 時 ~ 担当者より説明を受ける

もりやまエコパーク環境センター

エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進し

地球環境にやさしい持続可能な循環型社会を実現

70 トン級の小規模処理施設では全国最高水準エネルギー回収率 18.5% を達成

施設コンセプト

- 安全安心で安定した稼働ができる施設
- 環境に最大限配慮した施設
- エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進する施設
- 経済性に優れた施設

施設概要

施設名称	もりやまエコパーク環境センター
施設規模	熱回収施設 71 t /24 h (35.5 t /24 h ×2 炉) リサイクル施設 10.68 t /5 h
所在地	守山市環境学習都市宣言記念公園 1 番地 2
敷地面積	2.5ha
工 期	平成 30 年 9 月 28 日～令和 3 年 9 月 30 日
建設費	72 億 3 6 0 0 万円

施設の特徴

- 70 トン級の小規模施設、高温高压の蒸気条件で高い発電効率 (17.0%) を達成
- タービン排熱を利用し、交流拠点施設の温水プールへの熱供給 (熱利用率 1.5%)

エネルギーの地産地消

- 償却の際に発生する熱エネルギーを利用するサーマルリサイクルに取り組み
- 煙突の高さ 32 メートル 景観に配慮した外観デザイン
- 埋設廃棄物対策 ランプウェイを採用
- 充実した施設見学
- バーチャル炉内体験、パッカー車のトリックアートを設置
- 森山市小学生年間 2000 名見学

排ガス基準値

- 当センターは最先端の技術を導入し、排ガスについて法規制値よりもさらに厳しい自主規制値を設け、地域の環境保全に最大限配慮します。

施設内見学

- 熱回収施設 とリサイクル施設 を担当者に案内頂き見学
- 完成後 4 年経過 毎日 30~40 人の方が働いて居られる
- 焼却炉は 2 炉あり発電出力は 1400kw. 1/3 は場内で使用、2/3 は売電
- 見学当日は 1375kw. 出力、4222 家分の電力を供給
- 指定管理者管理を行っている。パッカー車は 1 日 50 台入る

もりやまエコパーク交流拠点施設見学

市民が共に学び、考え、行動する「環境学習都市」の実現

平成 29 年 10 月 23 日「環境学習都市宣言」が制定

周辺埋立地には、多目的広場グラウンド、スケートボード場、バスケットボールコート、サッカーコート、等がありバラ園を散策後、令和 3 年 4 月にオープンした、もりやまエコパーク交流拠点施設に案内頂く

環境、健康、交流 を育む活動拠点

多くの方が来訪し高齢者の生きがいづくりや、健康増進はもとより子どもたちの健全な育成を図り新たな交流が生まれる施設を目指す

施設の概要

環境学習ゾーン

環境学習室	99.36 m ²	定員 63 名
工作室	91.03 m ²	定員 54 名
交流・学習コーナー	309.58 m ²	
キッチンスペース	47.58 m ²	

健康増進ゾーン

温水プール	1,224.64 m ²	プール 25m×幅 16.5m	8 レーン
		水深 1.1m	又 1.35m
キッズプール	38 m ²	水深	0.4m
採暖室	6.75 m ²		
トレーニングエリア	53.1 m ²		

交流促進ゾーン

多目的ホール	579.9 m ²	主な利用種目	卓球・バトミントン・フットサル	等
温浴施設	154.32 m ²	定員	20 名	
畳コーナー	24.91 m ²			
多目的スペース		屋外		

その他

守山市事務室	132.96 m ²		
リユースステーション	20.66 m ²		
管理事務室	99.36 m ²		
前庭等及び駐車場	13,919 m ²	駐車場	97 台

見学終了 13 : 00

《所 感》

きれいに区画整理をされた田園の中に、もりやまパークセンターがありました。景観を配慮して建てられたとお聞きいたしましたが煙突も建物より上に見えません、ごみ焼却炉という固定観念を払拭するような建物でした。

完成後4年未満との事ですが、火災も何度かありました、リチウムイオン電池には特に市民には注意をお願いしますとのお話でした。子供達や市民の方が見学にお越し頂いたら注意事項の話ができると話されました。コカ・コーラと提携をしてペットボトルなどの再利用で環境にやさしい循環型社会を目指しているとの事でした。

交流拠点施設では施設利用料金が、それぞれ 森山市民、と市民以外、一般、高齢者、障害者と細かく区分され利用しやすい料金だと感じました。キッチンスペースは材料を持ち込めば料理ができ、1時間 100円と安く若いお母さんたちも子供連れで利用、又10種類のトレーニングエリアもあり、子供から高齢者まで幅広く利用されており、又、プールでは高齢者の方がウォーキングレーンで歩いたり泳いだりされています。隣接した屋外施設のグランドゴルフ場(8ホール×2コース)は使用料無料との話でした。

守山市は昭和55年の人口が4万6千人余り、平成22年には7万6千人余りと1.6倍に増えています。(現在約 8万5千800人 面積:55.73k㎡) 高齢化率 24.8% 阪神間への通勤圏とは考えますが、全国的に人口減の時代に人口増とは羨ましい話です。



環境施設内にて



交流拠点施設内にて